

2020

5月10日(日)	復活節第5主日 ミサなし		
	9:30	ロザリオの祈り「喜びの神秘」(ご家庭で)	
11日(月)~15日(金)	朝ミサ		
	なし		
16日(土)	なし	9:30	清掃(E地区)
5月17日(日)	復活節第6主日 ミサなし		
	9:30	ロザリオの祈り「苦しみの神秘」(ご家庭で)	
	9:30~11:00	財務受付	

**主任司祭からのお知らせ**

新型コロナウイルス感染症に伴う措置として7時(主日、平日)、9時30分(主日)の公開ミサはありません。ミサが再開される場合は、一斉メールおよびホームページでお知らせします。

**大阪大司教区からのお知らせ**

「新型コロナウイルス感染症に伴う措置(第7次)」を教区ホームページに掲載中

**典礼委員会からのお知らせ**

- 5月はロザリオの月です。冊子、カードを聖堂前に置いてありますのでお持ち帰り下さい。
- ・日曜日9:30、またお時間を見つけてご家庭で心を合わせてお祈りしましょう。
  - ・ロザリオの祈り冊子：教皇フランシスコの手紙・結びの祈りを掲載しています。
  - ・ロザリオカード：祈りをしたときに「しるし」をしてください。  
ミサ再開時に回収し、祈りの花束として奉納します。

**社会活動委員会からのお知らせ**

今年も子ども基金のご協力をお願いします。袋をトレイに入れさせていただきます。

受付：第1・第3日曜日の9:30~11:00 財務室

**財務委員会からのお知らせ**

ミサ中止期間は財務室において、維持献金などを受け付けます。

受付：第1・第3日曜日の9:30~11:00

尚、維持献金はミサ再開後で構いませんので、ご無理をされないようにお願いします。

**事務所からのお知らせ**

- ・緊急事態宣言が解除となるまで、受付時間を9時~14時に変更しています。皆様のご理解をお願いします。献金・納骨堂管理費等の受付もしますのでご利用ください。
  - ・信徒館事務所前で販売しています。お買い求めください。
    - ・JLMM 支援生胡椒(1000円) & 手芸品(各種)
    - ・東北支援チョコレート(1袋500円)
    - ・教区150周年記念誌(1冊1000円)
- 大阪教区への協力のために、一家庭に1冊の購入をお願いします。

満月を眺めて

満月を眺めながら筆を執りました。かつて教会は「復活」の日取りを『春分の次の満月後の日曜日』と決めましたね。私は満月を眺めるたびに主の復活を思ってきましたが、76年の人生でこれほど淋しい復活祭はありませんでした。しかしこの事態を許されたのは主なのです。主が許されないことは何一つ起こり得ないのですから。主はご自身を祝って貰う以上に緊急重大な懸案を私たちに秘めておられるのでしょうか？

考えるに、人類は情報の大津波に乗っかり戯れて、天を突くまでに豊かさ便利さをおさぼって、心は地に残したまま神に仕えていると疑っていないかに見える世界です。集いから人々を隔離し、経済を凍らせ、引きこもりを余儀なくされたこの時を、信徒の皆様はどのように過ごしておいででしょうか？ 無力な私、新任司祭は皆様へのご挨拶の言葉も持ち合わせがないのです。

幸い私たちのパパ、教皇様は私たちを案じて善き羊飼いとて、青草を与えるべく数々の発信をなさっております。中でも5月は、神の民がとりわけ熱心におとめマリアへの愛と崇敬を表す月として、家庭で家族一緒にロザリオの祈りを唱える素晴らしさを再発見するよう勧められています。

私達が聖母とイエスの近くにいたなら恐れるものは何もありません。悪からも善を引き出すことが出来る神が私達にこれほど大きな犠牲を過ごすことを許していただけるこの現実を、かつてのエジプトから解放された民の、荒れ野における想定外の試練が真の神と出会うためだったと捉えて忍ぶことは、神の目にとって地上の富を積み上げることよりももっと価値ある尊い、ミサに代る「神への供え物」になるでしょう。

今週はこの辺で。 2020.5.8 主任司祭 昌川信雄

「世界的パンデミックにおける緊急事態宣言に寄せて」

コロナウイルス感染症拡大防止のための教会行事について香里教会評議会における決定事項

- 1.教会行事について
  - 本年度の教会行事はすべて中止
  - 従って、バザーも行わない(準備にかかわる会合が必要となるため)
- 2.評議会の開催
  - 急を要する場合のみ臨時評議会として極めて短時間で開催し、各委員の出席の強要はしない。
- 3.上記の2点を(代替)信徒総会配布書類で告知する

以上、評議会議長より受けた事項を主任司祭として了承し、全信徒の皆様にお知らせいたします。

日本における前代未聞の災禍、世界的パンデミックの中にあつて公式ミサも復活祭さえもともに祝えず、孤立することを神が許されたのは、世の気晴らしから私たちを引き離し、四旬節から始まったこの時期に最も大切なもの、富ではなく「イエスと母マリア」に焦点を合わせることによって、各個人が内的に刷新されるように神に心を開くためであると心して、この忍耐の時を過ぎ越しましょう。

主任司祭 昌川信雄